

3Dスキャン

(3次元レーザー計測技術)



3Dスキャンは対象物までの距離を多数の点で測定を行い、3次元座標(X, Y, Z)を大量に取得し、表面形状を再現、目的に応じて様々な計測を行う技術です。当社では、小型対象物を高精度でスキャンする『HandySCAN』と大型対象物を高精度・高速でスキャンする『ワイドエリア三次元測定機』の2機種を所有しており、あらゆる対象物を高精度に3次元データ化し、計測することが可能です。

特 長

HandySCAN(小型対象物向け)

- 小型対象物の高精度スキャン
- 熱交換器シート面の歪み測定などに対応
- 高解像度 (最小0.05 mm)
- 容積精度 (0.02 mm+0.06 mm/m)



HandySCAN

ワイドエリア三次元測定機(大型対象物向け)

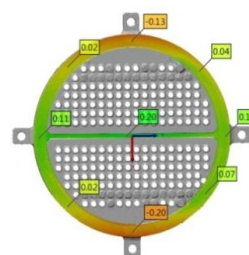
- 近距離広範囲スキャンに対応使用
- 測定範囲 幅25 m×奥行11.0 m×高さ12.5 m
- システム精度 $\pm(50+5L/1000)\mu m$
※L:任意測定長さ(mm)



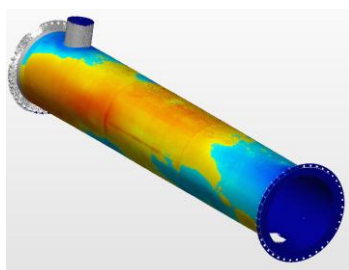
ワイドエリア三次元測定機

適 用 実 績

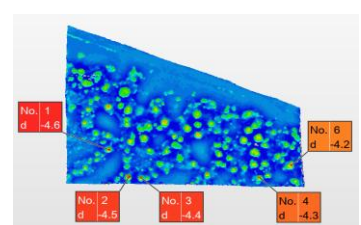
- 管板シート面歪み量測定
- 配管・機器・タンク腐食測定
- 回転機の摩耗測定
- 機器の歪み・真円度などの寸法測定ほか



管板シート面 歪み量測定



熱交換器真円度測定



タンク底板 腐食測定